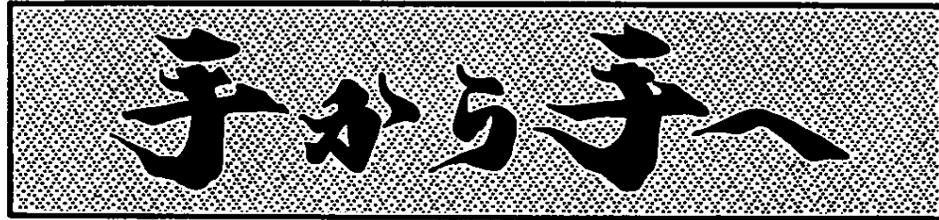


この『手から手へ』は全教職員に配布しています。 まだ組合に入られていない方、ぜひ加入してください！

発行／公立大学法人
首都大学東京労働組合
TEL=042-677-0213
Eメール=union@apricot.ocn.ne.jp
HP=http://tmu-union.org/



第 2862 号

2020 年 5 月 14 日

文系・事務支部の野元弘幸さんから、困窮する都立大生を支援するためへの協力の呼びかけが、組合に寄せられました。組合員の皆さん、教職員の皆さんにご紹介します。賛同される方は、ぜひご協力ください。

投稿

2020 年 5 月 8 日

首都大学東京労働組合組合員／教職員の皆さま

新型コロナウイルス対策で困窮する都立大生への支援について（支援のお願い）

都立大コロナ対策学生生活支援プロジェクト

世話人 野元弘幸（人文社会学部・教員）

平素より首都大学東京労働組合には、労働環境の改善等にご支援いただきありがとうございます。

このたびは、標記の件に関して、文書にて依頼させていただきます。

ご存知の通り、新型コロナウイルス感染症対策のために緊急事態宣言が出され、ほとんどの事業者が休業し、そこでアルバイトとして働いていた大学生の多くが失業する事態に至っています。

都立大生も例外ではなく、特に飲食店でアルバイトをしていた学生が失業し、4月始めから収入なしの厳しい生活を送っていることが分かってきました。

そこで、収入を絶たれ、食事を満足に食べられないなど、厳しい生活を余儀なくされている都立大生を支援するために、教員・学生・院生有志が食料配布のボランティア活動を始めました。

すでに、5月5日・6日の両日に第1回目の食糧配布を実施しましたが、5日は50名、6日は27名の計77名の学生が食料を求めて来場しました。

そのほとんどは、4月から収入がなく、貯金を切り崩したり、奨学金のみで生活をしており、5月の家賃が払えるかどうか心配している学生も多い状態でした。

政府からの特別給付金の10万円についても、八王子市や相模原市などの給付は6月になるようで、すぐには学生の経済状況が改善することは望めません。

そこで、組合員の皆さん、教職員の皆さんには、都立大生が支え合い、助け合いながら、何とかこの苦境を乗り切るために、この食糧支援のプロジェクトをご支援いただきたく存じます。

当面5月末まで毎土曜日に、1週間分相当の食糧を希望者に配布する予定です。活動は、南大沢、日野、荒川の3キャンパスで実施します。

組合員の皆さん、教職員の皆さんからの物心両面でのご支援を賜りたく存じます。

支援に関する情報はツイッターで発信しています。下記アカウントをご覧ください。

よろしくお願いたします。

敬具

連絡先： 野元弘幸（プロジェクト世話人）

人文社会学部・教育学・教授 内線1213 090-2348-1154

Twitter アカウント名「都立大コロナ対策学生生活支援プロジェクト」

支援物資送り先： 毎週金曜時間指定（14-18時）でお願いします。

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 5号館103号

東京都立大学・人文社会学部・野元研究室

支援金送付先： みずほ銀行南大沢支店・普通・1343032

ノモトゼミコクサイコウリュウキケン

以上